

幼児教育長期派遣通信 1学期号

発行 令和5年9月6日

熊野町立熊野第三小学校 河久 千景（派遣園：社会福祉法人光生会保育所ひかり学園）

1 1学期の研修内容

- (1) 園内研修→0～5歳児の様子を観察，環境の構成，保育者の意図の考察，園行事の参加など
- (2) 園外研修→幼児教育理解に係る研修会，所属校のスタートカリキュラム参観など

2 研修を通して

幼児期に遊びの中で育まれている力は，どのようなものなのかを学んでいます。実際に園で子供たちと一緒に生活することで，子供たちは日々多くの学びをしていることに気付かされました。

本県の目指す乳幼児期の姿～5つの力～

遊びを通して総合的に育んでいきます

感じる・
気付く力

うごく力

考える力

やりぬく力

人と
かかわる力

乳幼児期に5つの力を育むことは小学校教育以降の基盤となります。

遊びの中に たくさんの 学びが 隠れていた！！



5つの力の中で
どの力が見つけられるかな？



保育所側

【活動の様子】

公園へ到着。子供たちは，自分たちの遊びたい場所へ行き始めた。「葉っぱをどけたら，どんぐりがあるよ。」どんぐり集めが始まった。袋たっぷりのどんぐりを保育者に見せる子供たち。別の場所では山の斜面を登ったり，滑ったりして遊んでいる。Y児も滑ろうとするが，うまくできない。それを見ていたH児がそっと手を伸ばし，手を繋いで降りていた。山の上では，落ち葉を掌にたくさん集め上に投げて，空に舞う葉っぱを見て遊んでいる。それを見ていた子供たちはどんどん集まってきて，かけあったり，ひらひら舞うのを眺めたり「パーティみたい」と笑顔のM児。柵の下でダンゴムシを見つけた子供たち。園に帰ってから，じっと見つめたり，掌に載せて遊んだりしている。

【遊びの中で育まれている力】



植物や小動物を見付けたり自然物を使って遊んだりするなど，季節の移ろいを諸感覚で感じています。

傾斜が険しい斜面へ登ったりどんぐり拾いをしたり落ち葉を木の棒で払ったりするなど戸外で思いっきり体を動かすことを楽しみます。



感じる・
気付く力

うごく力

傾斜があり降りることができない友達にそっと手を差し伸べて困っている友達を助けています。

人とかかわる力

考える力

葉っぱを紙吹雪のように散らすとパーティみたいで面白いと発見したり，思ったことを言葉で伝えたり，友達と体験を共有します。

「先生，ダンゴムシいたよ」「足速い」「いっぱい動くな」興味をもってダンゴムシを観察しています。



学びの連続性



小学校側

【活動の様子】

【教科に繋がる力】

公園へ到着。子供たちは、自分たちの遊びたい場所へ行き始めた。「葉っぱをどけたら、どんぐりがあるよ。」どんぐり集めが始まった。袋たっぷりのどんぐりを保育者に見せる子供たち。別の場所では山の斜面を登ったり、滑ったりして遊んでいる。Y児も滑ろうとするが、うまくできない。それを見ていたH児がそっと手を伸ばし、手を繋いで降りていた。山の上では、落ち葉を掌にたくさん集め上に投げて、空に舞う葉っぱを見て遊んでいる。それを見ていた子供たちはどんどん集まってきて、かけあったり、ひらひら舞うのを眺めたり「パーティみたい」と笑顔のM児。柵の下でダンゴムシを見つけた子供たち。園にかえってから、じっと見つめたり、掌に載せて遊んだりしている。

- ・身近な自然を観察したりする活動の力に繋がります。
- ・大きな数を数えたり、和や差をもとめたりする力に繋がります。

生活科 算数科

- ・用具や遊具を使つての運動遊びに繋がります。
- ・危険を感じて身を守るなど、けがの防止を考える力に繋がります。

体育科 保健

- ・友達と仲良くし、助け合う力となります。

特別活動 道徳

- ・体を使った表現遊びに繋がります。
- ・身近な物を使つて製作する力に繋がります。

図画工作科

- ・動植物と関わりその特徴に気付く力に繋がります。
- ・生き物や植物を丁寧に観察して記録する力に繋がります。
- ・生き物の生活に関心をもって働きかける力に繋がります。

理科 国語科

同じ事例でカンファレンスを行いました。保育者は、一人一人の育ちに焦点を当てて話し合いを進めていきました。



教師側の視点を伝えた後の保育者の感想

- ・教科に変換すると様々な教科があり面白い。
- ・幼児期の学びは小学校と繋がっていて、色々な経験をさせることが大切だと感じた。
- ・幼児期の小さな経験の積み重ねが小学校に生かされている。

考察

- ・接続を進めていくために、小学校側は園所での子供達の「遊び」つまり「学び」をもっと知っていく必要がある。
- ・繋がりを考えた時、教科という要素だけではなく、園所での経験は、すべての「学び」の土台となっている。

3 まとめ

研修を通して、遊びに夢中になっている子供一人一人の発する言葉や所作などに目を向けることで、遊びの中にたくさんの学びが隠れていることに気付きました。そして、その学びを価値づけることで、子供の遊びはさらに広がったり深まったりすることが分かりました。またその遊びを考察することで、5つの力が多面的に育まれていることも分かりました。園所で培った力が、小学校の様々な教科の学びの土台となっており、連続性を深く感じました。園所での学びと教科との繋がりを意識し、子供たちの学びを小学校の教科学習でどのように繋げていくか今後も研修に励んで参ります。

〈乳幼児教育支援センターより〉

幼児期の遊びを通した学びが小学校の学習にどのようにつながっているか、幼保小の先生が子供の姿の事例を通して、具体的に対話を重ねることが重要です。このような対話を通して、相互の教育内容や指導方法を理解するとともに、自らの指導を見直し工夫することが求められています。